



永平寺町

議会だより

第43号

平成28年8月5日発行



わんぱる団体

永平寺ガーデニングクラブ
「愛花夢」

(※ 最終ページに紹介記事)



2 議会新体制スタート

新議長・新副議長あいさつ、委員会構成など

9 そこが聞きたい! 議員16人が一般質問

20 議会と語ろう会 質問への回答【ダイジェスト版】

永平寺町議会
facebook



永平寺町議会

検索

議会の新構成

議長：齋藤 則男 副議長：小畑 傅

監査委員：樂間 薫

(◎ 委員長 ○ 副委員長)



平成28年 第5回 臨時会報告

平成28年第5回永平寺町議会臨時会が、7月29日（金）に開催されました。審議された内容は、次のとおりです。
 なお、新議長に齋藤 則男 議員、副議長に小畑 傅 議員が選ばれ、委員会構成も一新しました。
 また、永平寺町監査委員議員選出には、樂間 薫 議員が選任同意されました。
 議長 齋藤 則男

第5回臨時会議案

議案第39号 旧消防庁舎改修建築工事の請負契約締結について	可決	議案第41号 松岡中学校武道場新築工事の請負契約締結について	可決
議案第40号 防災行政無線整備工事の請負契約締結について	可決	議案第42号 監査委員の選任同意について	同意

議長・副議長就任ごあいさつ

迅速に・丁寧に・正確に 町民とともに歩む議会



議長 齋藤 則男

**町民の目線に立った
町民のための議会**

盛夏の候、町民のみなさまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
 また日頃より町議会活動に深いご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
 先般開かれまして臨時会において選任され、議長に就任いたしました。
 われわれ議員は、町民のみなさんの選挙により町民の代表として選ばれ、議会を組織し、行政のチェック機関として、町民のみなさんに代わってその責務を果たすために議会活動を行っております。

私は「開かれた議会、行動する議会、提案する議会」を基本理念とし、これまでの歴代議長が進めてこられた議会改革・行財政改革をさらに進めていきたいと思っております。
 そして、町民の福祉向上のために「町民の目線に立った、町民のための議会」を目指し、議会のリーダーとしてその役割を果たしていきたいと思っております。
 行政とは、是は是、非は非、として正面から向かい合い、議論を交わし、二元代表制である永平寺町議会の存在感・重要性・必要性を、広く内外に示したいと思っております。
 議会のかし取り役としてのその職務は、ますます重要となつてきます。町民のみなさまのご理解とご支援をいただき、適切な議会の運営を行っていききたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。



副議長 小畑 傅

町の発展に努力

このたび、議会の新構成において、議員各位の信任により副議長に就任させていただくことになりました。議会活動を通じ、その責務を果たし、町民の暮らしと安全を守り、町の発展に努力して参りたいと思っております。
 少子高齢化社会に伴う人口減少問題や、財政的には合併による優遇措置も間もなく終了し、さらに2年後には国体・身障者スポーツ大会を控え、節度ある町政運営が求められています。
 本町を取り巻く課題は山積しており、これらに対応するために本町議会基本条例に基づき、さらに二元代表制による議事機関・監視機能の責務を全うし、町民の付託に応えていきたいと思っております。

議案への賛否討論

承認第5号
町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認

反対討論 金元 直栄
地方税法の改正は、税源の振り分けのためにと言う法人税の減税は問題。第2は、TPPで営農の先が見えないという状況を作っておいて、遊休農地の固定資産税を1.8倍にしていくなどという方向は認められない。

承認第6号
国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認

反対討論 金元 直栄
国保税は、最高限度額に達する所得が社会保険より低いこと。また、後期高齢者医療や介護保険への負担も加わり、負担額がどんどんふくれ上がってきた。さらにの引き上げは認められない。国の限度額の引き上げに必ず必要はない。

賛成討論 斎藤 則男
本来、国民健康保険は目的税であり、今の国民健康保険の

陳情第1号
所得税法第56条の廃止を求める意見書採択

賛成討論 上田 誠
この条項は「家族経営の家族従業者の働き分(対価)は必要経費に算入しない」の規定を廃止する意見書採択であり、次の4点から賛成の意を示す。①配偶者、家族の働き分が評価されない②平成26年から記帳義務があり記帳向上のため③青色・白色申告により不平等が生じている④世界的にも、国内でも50近く自治体で意見書採択を向けた検討を始めている。

反対討論 江守 勲
所得税法第56号では、白色申告の簡易な記帳では、家族従業員の給与を必要経費に算入する際に、恣意的に所得を分配する事ができ、これを防止する為にも必要であり、所得税法第56条

賛成討論 金元 直栄
賛成理由の第一は、国もこの条項の見直しを検討中で、将来は変わるだろうと言いつつながら否決は、国の見直しへの水差しだ。第二は、白色申告も記帳が義務づけられ、青色申告でなければ不正をするなどというのは、理由にもならない。第三は、明治20年制定の所得税法第一条の但し書き「同居ノ家族に居するモノヲ総て戸主ノ所得に合算スルモノトス」という戦前の家父長制度によるものは、いよいよ加減変える必要がある。との理由からです。

反対討論 奥野 正司
56条は家族従業者への対価支払を必要経費不算入とするも、57条で事業と家計の分離が明確な青色申告を選択すれば家族従業員給与も必要経費に算入出来、不合理ではない。陳情書は青色申告の届出や記帳義務を、納税者差別・人権侵害・女性差

賛成討論 滝波登喜男
個人事業所のうち、白色申告者は規模も小さく厳しい経営を強いられ、税務申告に携わる人も費用もないのが実情である。本町においての実態も調査せずして反対してしまうのは、議会として問題である。

反対討論 斎藤 則男
わが国の申告は自主申告制度であり、青色申告・白色申告を自由に選択でき、56条57条は整合性があるものと思います。また、提出された意見書案の内容について、表題は、56条の廃止を求めているが、文章の内容文言は、56条の改正となっている。わが議会として、このような意見書を採用し、提出するのはいかがかと思う。

平成28年 第3回臨時会報告

議長 川崎 直文

平成28年第3回永平寺町議会臨時会は、4月28日(木)に開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

第3回臨時会議案

承認第2号	平成27年度一般会計補正予算の専決処分の承認	承認
承認第3号	平成27年度介護保険特別会計補正予算の専決処分の承認	承認
承認第4号	固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	承認
承認第5号	町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	承認
承認第6号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	承認
承認第7号	損害賠償の額を定めることの専決処分の承認	承認
議案第32号	平成28年度一般会計補正予算	可決
議案第33号	平成28年度ふるさと創造拠点施設(仮称)建設工事の請負契約締結	可決

議案第32号 平成28年度永平寺町一般会計補正予算 624万3千円
地域資源テストプロモーション事業委託料 300万円
ブランド戦略推進委員会補助金 300万円
2事業とも地方創生総合戦略の事業。町の単独事業となる。

議案第33号 平成28年度ふるさと創造拠点施設(仮称)建設工事請負契約締結
工事名 平成28年度ふるさと創造拠点施設(仮称)建設工事
契約金額 111,240,000円(消費税を含む)
契約相手方 株式会社 見谷組
入札の結果は上記の通り。可決承認した。

平成28年 第4回定例会報告

議長 川崎 直文

平成28年第4回永平寺町議会定例会は、5月31日(火)から6月16日(木)まで17日間開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

第4回定例会議案

報告第1号	平成27年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告	報告
議案第34号	平成28年度一般会計補正予算	可決
議案第35号	平成28年度介護保険特別会計補正予算	可決
議案第36号	平成28年度下水道事業特別会計補正予算	可決
議案第37号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第38号	消防ポンプ自動車(CD-1型)の取得	可決
陳情第1号	所得税法第56条の廃止を求める意見書採択	不採

議案への賛否一覧

議長順に掲載 (○賛成 ×反対 一欠席 □退席) ※議長(川崎直文)は採決に加わりません

	上坂	滝波	長谷川	朝井	酒井	江守	小畑	上田	金元	楽間	齋藤	伊藤	奥野	中村	川治	長岡	多田
承認第5号	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第6号	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	○	□	○	○	○	○	○	□	□	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第1号	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等11件については全員賛成です。

予算決算常任委員会審査報告

平成28年度一般会計予算

2億1000万円

介護保険補正 1000万円
下水道補正 160万円

当委員会に付託された議案第34号「平成28年度一般会計補正予算」から第36号「平成28年度下水道補正予算」の3件は全員出席にて6月9日に慎重に審査を行い、原案を賛成全員で可決した。審議の主な意見は次の通りです。

【主な項目】

松岡中学校武道場新築工事

(総額約2億円)

1億7,830万円

頷家歩道橋架設附帯工事他

(総額約8000万円)

1,630万円

周遊・滞在型観光担当負担金

(総額約1300万円 2プロジェクトに参加 福井エリア400万円・奥越エリア900万円)

140万円

自治会管理防犯灯補助

(総額約670万円 67地区の申請)

160万円

消防団員用耐切創手袋

(総額約650万円 消防団員全員に支給)

100万円

主な質疑応答

平成28年度一般会計補正予算

◆総合政策課

問 情報端末事業の内容は。ランニングコスト等は。

答 音声翻訳システムの実証実験であり、実験後は(タブレットは貸出し)専用アプリとして使用でき、インバウンド観光に役立つ。ランニングコストは発生しない。

問 地域コミュニティ活動支援事業で建物だけでなく備品にも適用を。特に高齢者向けとして。

答 今後、福祉面を考えて検討する。

◆商工観光課

問 観光事務諸経費で、今回2つのプロジェクトの参画であるが、費用対効果や、本町が進んで計画をリードする方向は。

答 参画の目的が各々あり、情報交換など費用対効果を考え、次への展開を図りながら対応していく。

◆建設課

問 頷家歩道橋工事の変更についての、内容説明と今後の方向は。

答 再度全協等で詳細を説明する。

◆学校教育課
問 遠隔授業研修システムの今後の

展開はどうなのか。

答 県の事業で全小中学校に展開し、学校間での授業、研修に活用する。

問 地域と進める体験事業の内容と今後の展開は。

答 今までも取り組んできたが、県の事業として今年1校、来年は4校、次々年度は5校で実施する。

問 武道場建設は国体のためなら財源(補助)を県から受けられないのか。

答 また今後スポーツ振興にも役立つ方向性は。国体終了後、町の資産となる関係から補助対象とはならないが、武道場(サブ体育館)として、また、今後は社会体育活用面での活用も考えていきたい。(バスケットの町として)



新しい永平寺門前イメージ

付託案件の議案第38号1案審議成る
陳情第1号1案 否決

総務常任委員会 委員長 中村勘太郎

本委員会は6月10日に全委員出席のもと開催し、総務関係に付託された2案件について慎重に審議した。

議案第38号 消防ポンプ自動車(CD-1型)の取得について

陳情第1号 所得税法第56条の廃止を求める意見書採択について

①今回更新される消防ポンプ自動車(CD-1型)1台は、吉野分団に配備され、特徴は4WD駆動で特に計器類の見やすい配置に設計され操作性に優れ、ポンプの能力はA-2級で毎分2000リットル以上の放水能力を有する。

陳情 第1号

①この陳情書の表記に「廃止」と記されているが、この前に「改正」法案が先に示されるべきではないか。国においても制度の見直しを検討していることとしており、時期

尚早であり意見書を提出すべきで段階でない。

②(事業から対価を受ける親族がある場合の必要経費の特例)の第56条では、配偶者その他の親族が事業に従事したとき、その対価は必要経費に算入しないとしているが、(事業に従事する親族がある場合の必要経費の特例等)の第57条において、青色申告すること、配偶者その他の親族が従事した対価を必要経費に算入することが可能となっている。

③所得税法第56条は、恣意的な所得の分配を防止するためにも必要である。

④この陳情書の要旨の中で、家族の人權や女性の差別撤廃などの用語が使用されているが、条文の趣旨に適さないのではないか。

以上のことから、本陳情には賛同できず、採決の結果、委員会全員一致により不採択とする。

本町の公民館活動をさぐる

教育民生常任委員会 委員長 滝波登喜男

当委員会は、6月13日委員全員出席のもと、会議を開きました。

(付託議案)

議案第37号 永平寺町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

建物の4階以上にある小規模保育事業の非常階段に係わる規則が合理化されたため、同条例を改正するもので、全員賛成で可決された。

その他
・公民館活動について
研究テーマ「公民館が地域作りの拠点となるために」の調査活動として、本町の実態を聞いた。小学校区ごとに7公民館があり、館長7名、嘱託主事2名配置している。地域の実情に応じ、地域住民の意向を適切に反映した運営がなされるように努めている。

委員からは、職員も福井市の公民館活動が活発なので、視察に行くように提案があった。

国体に向け、周辺の駐車場、歩道の道路計画を

産業建設常任委員会 委員長 朝井征一郎

今回は産業建設常任委員会において、本定例議会での付託議案はなし、行政報告のみ。

一、建設課：中部縦貫自動車道永平寺インターと永平寺口とのアクセス道路について現在は、東古市まちづくり協議会にて協議をしている。

二、農林課：公有財産無償譲渡契約書の

報告(永平寺町林業振興集会センターの譲与) 本件建物の譲渡日は、平成28年6月10日とする。

三、商工観光課：永平寺町地域資源テストプロモーション事業(アークヒルズマールシェでの開催)、ブリスでの販売PR、永平寺大燈籠ながしPR、野菜の販売(ピクニックコン、ニンニク、玉ねぎ、ごま豆腐加工食品、永平寺そばの実演販売など) 永平寺除夜の鐘イベントなどのPR。

6月定例会 一般質問 **そこが聞きたい!** 問&答

16名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

一般質問：目次

- 川治 孝行 … ⑨ 酒井 要 … ⑭
- 小畑 博 … ⑩ 朝井征一郎 … ⑮
- 長岡千恵子 … ⑩ 奥野 正司 … ⑯
- 上坂 久則 … ⑪ 樂間 薫 … ⑯
- 長谷川治人 … ⑫ 上田 誠 … ⑰
- 中村勘太郎 … ⑫ 多田 憲治 … ⑱
- 齋藤 則男 … ⑬ 金元 直栄 … ⑱
- 江守 勲 … ⑭ 滝波登喜男 … ⑲



川治 孝行 議員

問 議会と語ろう会を顧みて

答 民意に沿った政策を推進

問 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」とは。 **答** 総務課長 人口減少、少子高齢化を緩やかにするため国が定めた「人口ビジョン」に基づく、日本の経済、人の流れを好循環させるための総合計画。

問 地域版総合戦略プランとは何か。また、事業内容と計画は。 **答** 総務課長 国が策定した総合戦略が「まち・ひと・しごと創生総合戦略」であり、市町が策定した施策を地方版総合戦略という。永平寺町は4つの基本目標を掲げ4月に総合戦略概要版を作成し各戸に配布した。

問 ブランドとは何か。また、どのような効果があるのか。 **答** 総務課長 国が策定した総合戦略が「まち・ひと・しごと創生総合戦略」であり、市町が策定した施策を地方版総合戦略という。永平寺町は4つの基本目標を掲げ4月に総合戦略概要版を作成し各戸に配布した。

問 人口減少に伴って、小中学校の統合に関する質問が多いが、今後の対応は。 **答** 教育長 統合については、時期尚早と考える。今後子育てに優しい町づくり、給食の無償化をPRし、宅地造成と少子化対策を進め地域に根差した学校づくりを進める観点から、存続に向け努力する。

問 町内の若者達が春江方面に移住する要因は何か。 **答** 総務課長 春江地区は幹線道路に近く、公共交通の利便性・病院・学校・スーパーの立地、住宅環境の整備等が第一の要因と思う。

問 学校給食の無償化と **答** 学校給食課長 社会にとって有意義な魅力ある個性と、町独自の価値観を提供すること。また、新たな魅力や体験を発信することで、多くの人が永平寺町への居住意識の高揚等に効果があると思う。

問 給食の内容について賛否両論あるが、今後の対応は。 **答** 学校給食課長 学校給食の無償化は保護者の経済的負担軽減と食教育の充実を目的としており、今後も継続の方針。

問 熊本地震から永平寺町の庁舎は大丈夫か。また、活断層は。 **答** 総務課長 本庁舎は、22年に耐震診断を実施し、25年、26年の2ヶ年で耐震補強工事を施工した。また、本町には2本の活断層と周辺にもいくつかの活断層がある。

【その他の質問】 「中山間地域整備について」



浅見集落生活改善センター

議会行財政改革特別委員会報告

委員長 滝波登喜男

議員14人体制後の委員会を考える

5月30日、委員会開催要請書（A）が提出されました。

議会は本来、全員で審議し決定していくもの（本会議主義）ですが、多数の議員での審議は深まらないため、少人数の委員会を設け、行政事務に関する調査や、議案、請願等の審査を行っています。（委員会主義）

現在常任委員会は4つあり、全員で構成する予算決算常任委員会の他に、6人で構成する総務・教育民生・産業建設の3常任委員会があります。

今回の提案は、次の14人体制への移行をスムーズに行うため、残り2年間を3常任委員会から2常任委員会にすることを試行的に行い、課題を見つけ出そうというものです。

あまりにも突然の提案であり、急を要することから、6月議会終了後の7月5日、15日に協議しました。

まず、提案に対する意見をそれぞれ聞き、整理した結果、各委員より現状と将来についての意見（B）が出されました。その一つ一つの課題を解決するための改善策を探りながら、最終的に2委員会がいいかどうか、別の方法がいいのかななどの答えを出していきたいと思ひます。町民のための議会を目指して、より審議を深め、よい取り組み

をしていきます。

なお、県内町議会常任委員会の状況（C）を載せましたので、ご参照ください。

議会行財政改革特別委員会委員長 殿 (A)

議会行財政改革特別委員会の開催要請

議会行財政改革特別委員会で昨年来、審議を重ね、議員定数については委員会として一定の結論を出した。この議員定数の方向性を討議したベースには、近隣自治体をはじめ他自治体の委員会構成や、合議体としての有効議員定数は7～8人という、委員会構成員数の経験則からの研究者報告等をも照らし合わせながら、各議員が判断した結果である。

この6月議会において結論を出し、7月の委員会委員の再編に間に合わせ、次の一般選挙までに試行・習熟し、課題を見つけ出すルールを敷くことが、議員定数に一定の結論を出した現在の議会行財政改革特別委員会委員の責務であり、2年が経過した一般選挙の後ではその後の議会活動の停滞を招くと考える。

(以下 省略)

3委員会の現状

- ・1委員会6人では論議が不十分であり、専門家が言われている7～8人とすれば、十分な調査、審査できる。
- ・委員会に付託される案件が少なく、2つにしても支障がない。
- ・3常任委員会は予算審議ができない。
- ・幅広い分野を審議したいが、他の委員会は参加できない。

将来に向けて

- ・定数14人体制時にスムーズに移行できるように、試行的に2委員会とする。
- ・2年後の新体制に向けて十分調査・研究する。

県内町議会 常任委員会の状況 (C)

永平寺町 定数18	総務常任委員会 (6) 総務				池田町 定数8	総務厚生常任委員会(4)	文教経済常任委員会(4)
	教育民生常任委員会(6) 教育民生				南越前町 定数14	総務文教常任委員会(7)	産業厚生常任委員会(7)
	産業建設常任委員会(6) 産業建設				越前町 定数14	総務文教厚生常任委員会(8)	産業土木常任委員会(6)
	美浜町 定数14	総務文教常任委員会(7)	産業厚生常任委員会(7)				
	高浜町 定数14	総務産業常任委員会(7)	厚生文教常任委員会(7)				
	おおい町 定数14	総務常任委員会(8)	産業建設常任委員会(6)				
	若狭町 定数14	総務産業常任委員会(7)	教育厚生常任委員会(7)				

問 物品購入の実態現況は

答 できるだけ町内業者で対応



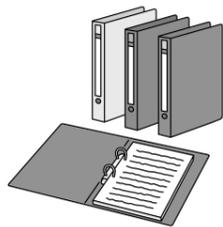
上坂 久則 議員

問 役場の考え方(姿勢) 単価だけの購入基準か、町内業者への優先差があるのか。

答 総務課長 原則として、できるだけ町内業者からの購入を促進している。消耗品47%、賄い材料費62%、印刷製本費60%、燃料費100%の活用率。

問 詳細な資料を見ると概ね理解できるが、改善の幅はまだある。

町長 町内購入の優先を



指示している。

問 町外業者の活用は消防本部が目立つが。

消防長 救急関係、ホース等の特殊・専門分野を除いて町内業者から調達している。

問 介護保険制度の変更で、要支援1・2のサービスはどうか。現在の考え方は。

福祉保健課長 来月4日より、通所介護・訪問介護は地域支援事業へと移

答 地域支援事業への移行

問 介護保険制度の変更でサービスはどうなる

行する。ボランティアの活躍を期待し、活動費用の補助を考えている。



【その他の質問】
「観光物産協会の活用プラットフォーム事業」

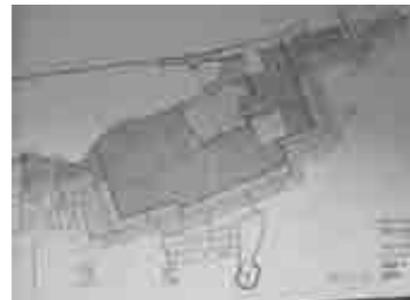
問 城下町・松岡のアピールを

答 文化財として保存の方向



小畑 傳 議員

問 旧織物会館跡地にふるさと創造拠点施設が来年3月に完成する。観光情報発信も目的の一つでこの機会に360年前の松岡藩を顧みて、観光資源の掘り起こしができたらと思う。当時芝原(志比原)の庄に松平昌勝公が福井藩の分藩として5万石を拝領し、この地を松岡と命名する。昌勝公18歳(1654年)の時松岡に入部し、河岸段丘を利用した今の「お館つばき」の所に居を構え、堀・内堀の周りに、上級・中級武士の館が囲み、その外側は堀と堀で囲まれていた。さらにその周りを、武家社会を補完する町人・職人の町屋が軒を並べ、そして下級武士は町屋を挟むようにし



江戸時代の松岡藩

て、その外側に住まいがあった。外堀を囲むように作られた町屋や鍵型に通る道(12曲がり)は、ほぼ当時のまま残っており城下町の名残を留めている。しかも、現在も普段の生活道路として充分に適應している。この12曲がりを松岡の観光スポットの一つにしてはと思う。

生涯学習課長 特徴ある道路を守り広く紹介し、文化財として保存・保護の必要があると考える。

総合政策課長 今回の事業の中で、散策による魅力づくりとして観光客および町民に紹介し、町の歴史認識を深めるために案内看板を設置したい。

問 障がい者施設の存続と増設を

答 支援していきたい



長岡千恵子 議員

問 地域活動支援で活動している事業者には資格者の配置は、自己解決が必要と思うが、有資格者の採用は経費的にも難しい。町の対応は。

福祉保健課長 体制を整えるように指導していく。金銭的には補助や委託を検討したい。

問 現在永平寺保健セン

問 中学生海外派遣事業の内容は

答 15名を米国シアトルへ

問 昨年、中学生海外派遣で、渡航先を変更するという話があった。変更後の渡航先は。その理由は。

生涯学習課長 検討会は、派遣先を米国シアトル、実施時期と期間は来年3月に5泊7日で検討中。

問 シンガポールは英語のほか多言語を使用。ホームステイの時に困惑したという報告。中学生の英語力向上の観点から派遣先を検討した。

問 派遣先がアメリカと聞くと安全面の確保は大

問 熊本・大分地震級が襲ったら

答 自助・近助・共助・公助で対応

問 4月14日に発生した熊本・大分地震。短い周期に震度7が二度も襲いた人的にも物的にも大きな被害を与えている。そんな中、行政の対応は。

町長 全町職員を対象に非常招集訓練など行っている。まず家族の安否確認(自助)をしてから出

てくるようにし、情報収集の一元化に臨機応変に対応したい。しかし行政(公助)だけではうまく機能しない。昨年は65名の方に防災士の資格を取ってもらったが、多くの町民の方が取っていた。防災への理解を高めてほしい。

問 包括支援センターの方向性は

答 本庁へ移設し、充実を図る

問 現況の考え方は。

町長 委託はしています。設置義務・管理責任は町行政にある。

福祉保健課長 専門職員を適正配置。場所は便利

性を考慮して本庁に設置したい。

問 福祉現場では、目には見えない苦勞がたく

べきだが。

町長 しっかりした環境で労働すべきと考えている。



中学生海外派遣事業

問 夢の持てる 福祉のまちづくりを

答 地域で支え合うサービス提供



齋藤 則男 議員

問 保健、医療、福祉の連携は図られているのか。健康づくりと医療と福祉の垣根を越えた連携によるサービスの提供は、高齢者や障がい者にとっては必要性が高く、地域での共助も含め、効果的に支えていく連携の仕組みづくりを推進を。

福祉保健課長 2025年をめぐりに構築を求められている地域包括ケアシステムの構築に通じるものと思う。

町長 少子・高齢化、超高齢化社会がどんどん進んでいる。医療と介護の連携においては、顔の見える関係づくりが重要。介護サービス従事者や、医師、看護師、薬剤師、介護施設の方の集まりによる研修会を実施。また、地域ケア会議の出席、介護予防事業の取り組み、精神障がい者への訪問、相談に町の保健師も活動している。



総合政策課長 一たび限界集落に陥ると集落内だけで自然増が見込めず、限界集落という状態から脱することができにくくなる。まずは限界集落という状態に陥らないよう

(※1)限界集落 過疎化などで人口の50%以上が65歳以上の高齢者になって冠婚葬祭など社会的共同生活の維持が困難になっている集落を指す

問 「情報・発信」の方法を今一度

答 さらなる「伝達法」に取り組む



長谷川治人 議員

問 議会と語ろう会で、「企業誘致のトップセール」とか「商店街活性化方策リーダーシップ」とか「勝山市、大野市との3市町の広域連携を」、また「給食費無償化のPR不足」「小学校の統廃合問題」等々について、町長以下行政側は、区長会始め各種団体等、また、各種チャンネルの配布やケーブルテレビ等々情報・発信については懇切丁寧に実施されていると思うが、それが一

部の町民には理解されていない。今一度、発信の良い方法は、総合政策課長 今、永平寺町ではフェイスブック、ホームページ、ケーブルテレビ、また冊子等々、様々な媒体を使い情報を発信している。見やすく、字も大きくして伝える努力もしている。今後とも住民の皆さんに関心を持ってもらえるように取り組んでいく。



春日3丁目ふれあい会館

問 災害時の輸送 インフラ対策で

答 「狭隘道路」でも車両確保十分に検討

問 阪神大震災、東日本大震災、熊本地震で多くの被災者、避難者が発生した。こうした状況下

では大型車は通れず小型車・中型車が役に立つ。災害時の輸送力として中型車の確保を講じておく必要がある。避難者への生活物資を運ぶ災害時の輸送インフラ対策についての考えを。

総務課長 大規模災害に備える為、災害時における

る応援協定を19カ所と締結済み。中でも町内の建設業会との協定では、災害時における緊急車両の通行の確保を行うこととなっている。また、道路の寸断により災害復旧に時間を要する場合には、自衛隊等の出動要請も検討することとしている。

特に道路の狭隘な部分を通れるような車両の確保も今後十分に検討する。

問 「地域振興支援」に向けて

答 民意重視で取り組む



中村勤太郎 議員

問 地域おこしについて、地域で活動している方々が取り組んでいる特産物は。

商工観光課長 レンゲ米、鮎、サクラマス、アラレガコ、葉っぱ寿司、ピクニックコイン、玉ねぎ、ニンニク、ごま豆腐、そば、木工品、染め物など様々な特産物。

問 地域おこしに携わっている方々は町民だけでなく、例えば、県立大学海洋資源学部田原准教授や若狭高校海洋学科の方々が、九頭竜川のアラレガコ復活を目指し、食

する文化や生育環境の保全に取り組む、現在年間千匹の成魚が育つ研究に成功したが、「養殖規模拡大や販路開拓を考えれば、技術をいかに民間につなげるかが課題」と言い切る。町の食文化の復



アラレガコの甘露煮

活(ブランド化)に向けての認識は。農林課長 ブランド化に向け、県立大学および中部漁協、関係者と連携を図り情報発信したい。

商工観光課長 観光物産協会や商工会等と連携強化し食文化の再認識など、情報発信に努める。

問 アラレガコの食文化でまちおこしに努力している方々が、元気で取り組める支援は。

町長 このブランドに付加価値が付き、町内事業者および農家の皆さんが、営業しやすい環境になっている。永平寺町のブランドを利用した企業が永平寺町で商売をしたいと結びつけるのが最終目標と思う。

問 松岡公園近隣の環境整備も

答 早急に取り組む

問 防災上の安全面でレッドゾーンに指定されている場所(柴神社近くの県道左側)だが、行政の認識は。

建設課長 特に大雨警報時等の降雨の状況を見ながら、異常がないか注意して、パトロールを行う。

問 町民は大変不安だ。

公園改修整備工事や国体に合わせた中学校武道場施設工事・清水区道路改修工事を含め、景観形成できないか。

建設課長 松岡公園整備と関連しての整備は大変困難。

副町長 県道部分も入れ、早急に対策を協議する。

問 限界集落の対策は 答 陥らないようにする

問 限界集落^(※1)になると地域が変わってしまうのではないかと。地域の人たちが、気がつかないうちに限界集落になってしまふ。そこで地域住民の協力や、地域、集落としての取り組み、その手段、方法等についてはどうしたらよいか。限界集落に対する町の取り組みは。

にすることが大事である。それぞれの地域も人口減少、少子・高齢化を身近な問題と捉えて、ソフトやハード面の政策を地域、地元と一緒に考え、協働して推進していくことが重要。



江守 勲 議員

問 クラウドファンディングの活用を

答 積極的に取り組む

問 町づくり会社設立に向けて取り組んでいるのか、町づくり会社でクラウドファンディングを取り入れた方が良いと考えるが、調査研究はされているのか。

町長 新しい形の民間資金の活用方法としてクラウドファンディングは、大きな選択肢の1つと考えている。購入型・投資型・寄付型があるが、永平寺町としては寄付型をメインでやっていきたい。また、大きな事業の中で^{※1}PPPや^{※2}PFIなどもあり、研究を重ね、なるべく民間資金の活用を積極的に取り組んでいきたい。

クラウドファンディングとは



総合政策課長 クラウドファンディングという資金調達の性質上、事業の実現という同じ意思を持った方々からの資金提供という点があり、町づくりに積極的な住民参加や資金提供が見込めると考えている。

問 新たなブランド作りや新商品の開発などにも有効的であり、地元の活

問 町の財源が厳しくなる中、補助金などにも限界があると思うが、クラウドファンディングを取り入れることにより、町民提案や町づくりに積極的な住民参加が見込めると思うか。

問 災害に強い町を

答 自主防災連協と連携強化



朝井征一郎 議員

問 福井地震から68年になり、福井県内の活断層帯では福井平野東遠断層帯主部が確率。今回の熊本地震を教訓に、永平寺町の防災組織、防災計画、防災連絡の手引、ハードマップなど配布しているが、いまだに住民への啓発がなされていないのでは。今、自主防災組織のリーダーを中心に自助、近助、共助の部分を進め

総合政策課長 民間の知恵や資金調達を積極的に取り入れ、町づくり会社

問 民間の知恵や資金調達の積極性を積極的に取り入れていくべきでは。

総合政策課長 民間の知恵や資金調達を積極的に取り入れ、町づくり会社

問 福井地震から68年になり、福井県内の活断層帯では福井平野東遠断層帯主部が確率。今回の熊本地震を教訓に、永平寺町の防災組織、防災計画、防災連絡の手引、ハードマップなど配布しているが、いまだに住民への啓発がなされていないのでは。今、自主防災組織のリーダーを中心に自助、近助、共助の部分を進め

総合政策課長 クラウドファンディングという資金調達の性質上、事業の実現という同じ意思を持った方々からの資金提供という点があり、町づくりに積極的な住民参加や資金提供が見込めると考えている。

問 新たなブランド作りや新商品の開発などにも有効的であり、地元の活

問 市荒川発電所で、地震、災害が発生した場合どのような対策を考えているのか。地震発生時に発電機はどのように考えているのか。耐震診断をしているのか。耐用年数はどのくらいか。

総合政策課長 地震発生時には、ダム管理所や給電制御所からカメラによる監視等により被害状況を確認するとともに、異常が確認された場合、ダム地点で水路への水の供給を遮断している。定期的な点検、調査を行い、必要が

問 市荒川発電所で、地震、災害が発生した場合どのような対策を考えているのか。地震発生時に発電機はどのように考えているのか。耐震診断をしているのか。耐用年数はどのくらいか。

総合政策課長 地震発生時には、ダム管理所や給電制御所からカメラによる監視等により被害状況を確認するとともに、異常が確認された場合、ダム地点で水路への水の供給を遮断している。定期的な点検、調査を行い、必要が



市荒川発電所

問 障がい者差別解消法の窓口は

答 福祉保健課で対応

問 町民全体、また役場の職員全員に理解してもらおう気持ちで話をすれば、他の人との平等をつくりだす、同じように働ける、また、同じように楽しめる、このような条件をつくることだと思

福祉保健課長 障がい者差別解消法の施行により行政機関は法的義務が、民間事業者は努力義務が課せられている。職員はもちろん、一般の住民の方についても自己啓発をお願いしたい。相談は福祉保健課で対応してい



酒井 要 議員

問 障がい者も普通の人と生活したい。理事者側もよろしくお願ひしたい。

福祉保健課長 永平寺町では法施行に伴い、対応要領というのを定めた。国が示す対応要領や、主務大臣が示す対応指針というのものもある。こちらに合わせて、永平寺町職員の対応要領というのを定めている。これからも関係職員に啓発して、取り組んでいく。

生中継 ぜひ、傍聴に来てね

第6回 9月定例会 (予定)

[本会議]
8月29日(月) 10時~

[一般質問]
9月5日(月)6日(火)7日(水) 10時~

[予算決算常任委員会]
9月8日(木) 9時~

[本会議]
9月14日(水) 10時~
[予備日]15日(木)

- 日程は、都合により変更になる場合がありますので、ご了承ください。
- 会議は傍聴することができます。役場本庁西側の階段を上がって、3階議場傍聴席にお越しください。
- 車椅子でお越しの方は、事務局までご連絡ください。(☎61-3950)

問 市荒川発電所の災害対策を

答 安全性を基に対応

問 市荒川発電所で、地震、災害が発生した場合どのような対策を考えているのか。地震発生時に発電機はどのように考えているのか。耐震診断をしているのか。耐用年数はどのくらいか。

総合政策課長 地震発生時には、ダム管理所や給電制御所からカメラによる監視等により被害状況を確認するとともに、異常が確認された場合、ダム地点で水路への水の供給を遮断している。定期的な点検、調査を行い、必要が

問 市荒川発電所で、地震、災害が発生した場合どのような対策を考えているのか。地震発生時に発電機はどのように考えているのか。耐震診断をしているのか。耐用年数はどのくらいか。

総合政策課長 地震発生時には、ダム管理所や給電制御所からカメラによる監視等により被害状況を確認するとともに、異常が確認された場合、ダム地点で水路への水の供給を遮断している。定期的な点検、調査を行い、必要が



奥野 正司 議員

問 熊本地震の想定外から学べ

答 常在活断層の防災対策推進を図る

問 想定外①地震が発生しにくいと思われていた地域②2度の震度7の地震発生③新耐震基準後家屋、新耐震基準強化改正後の木造家屋も倒壊、全壊続出。

本町建築物耐震改修促進計画の建築物耐震化率の目標とH27推計値は。

建設課長 民間住宅耐震化率目標90%推計73%、特定建築物目標95%推計89.2%。

問 旧松岡町地区には数本の活断層が走り、マグニチュード7.8、震度7で、地震発生確率0.7%と予測されている。

町長 断層が走る町として地震は今日か明日かいつ起きるか分からないという気概を持って防災対策に当たる。

問 ④住宅耐震化率、H25全国82%、熊本県76%



繁茂する雑木

総務課長 既に8割、または5割の補助で防災組織に補助金交付した地域も多く、困難。

問 ⑥基幹水道耐震化は熊本県25%、全国平均36%、本町は。

水道課長 基幹管路の耐震化率1.8%、浄水施設50%、配水池83%。

問 ⑦指定避難場所の使用不可による車中泊、テント泊者の大量発生。⑧交通渋滞による救援物資の到着遅延。松岡中地区では車中泊等に備えた用

問 芝原用水の暗渠化工事は完了か

答 一部来年度施工予定



楽間 薫 議員

問 6月2日に通水記念式典が行われた九頭竜川下流域バイパスライン。我が町を流れていた芝原用水を含めて関連工事は完了したのか。

松岡東幼児園北側の部分から松岡神明に至るまでの区間は現在雑草が生い茂っている。梅雨から夏、秋に向けて蚊やハエ



芝原用水

農林課長 その区間については今年度内容の協議をしながら、早期着手を引続き交渉していく。

問 消防の緊急電話の対応は

答 まずは「永平寺町〇〇地区」と

問 3月30日に起きた緊急事態に、たまたま居合

答 わせ自分の携帯電話で119番通報をした。すぐ

問 「町づくり会社」持続可能なのか

答 51%以上の出資+民間出資で



上田 誠 議員

問 フラットフォーム事業(町づくり会社設立)は産学官協働による今後の永平寺のまちづくりの事業を行うための拠点づくりが基本にある。持続可能が事業成功のキーポイントと考えるが、どのような運営形態や責任と係わり方は。

町長 まちづくりのために働いていく会社を基本とするため51%以上の出資と民間の出資と経営(運営)形態を取りながら(当面は指定管理)運営する。

問 事業計画の委託先はでき上れば終わり、後で管理運営するのはこのうち。成功の評価のキーポイントを常に求める姿勢が大事と考えるが。

町長 町の運営自体を変えていく起点としていきたい。

問 環境基本計画には環境意識向上のうづくり、循環型社会の推進、自然・地球環境の保全観点からのゴミ減量、リサイクル率向上の目標が示されている。現状と取り組み活動と運動は。

住民生活課長 ゴミ量は毎年約5000t、処理費約9000万円と横ばい。ひとりあたり724g/1日だが県下で3番

問 ゴミ減量・リサイクル率は進んだか

答 現状横ばい新計画策定で

問 環境基本計画には環境意識向上のうづくり、循環型社会の推進、自然・地球環境の保全観点からのゴミ減量、リサイクル率向上の目標が示されている。現状と取り組み活動と運動は。

住民生活課長 ゴミ量は毎年約5000t、処理費約9000万円と横ばい。ひとりあたり724g/1日だが県下で3番

問 軽度介護サービス除外、対応は

答 できる限り対応する

問 要介護1・2の生活援助や支援サービス、福祉医療具、バリアフリーの住宅改造の補助も除外の方向が示された。高齢者の社会参加面、生活面を考えると必要。町の対応はどうするのか。

福祉保健課長 介護給付から地域支援事業に移行

問 地区担当職員の選任で連携強化を

答 現体制で連携強化を図る

問 福井市が地域課題解決の手助けに、職員の選任制度導入があった。今後の公民館活動の助っ人となる一つの方針と考える

町長 現在公民館長、主事、推進委員が一生懸命取り組んでいる。現場の声を大切に、課題解決

に現体制で前向きに連携強化を図る。



多田 憲治 議員

問 保育園の民営化の検討も

答 町民のニーズに応え検討

問 町は以前より、子育て支援課長 保育施設10園で51・5%。園以上の特色ある保育園の民営化の考えは。

答 子育て支援課長 今後、施設の配置についても調査し、また、一部の園の民営化も一つの方策として検討していく。



夏場の利用を待つ吉峰寺キャンプ場

問 キャンプ場管理を指定管理に

答 指定管理制度の対応を検討する

問 キャンプ場利用については、以前の地域子供会活動行事としての利用から最近では、県外の方がアウトドア感覚での利用が増えている。車のナビ等でキャンプ場を探し当てても、事前に申し込みしなければ

利用することができない。

込み受理しているのが現状。

問 収益はさておいても町の広報また、利用者の利便性を図るためにも、浄法寺山キャンプ場、吉峰寺キャンプ場は指定管理制度を活用し、利用者の増大を図ったらどうか。

商工観光課長 施設の利便性を図るためにも今後、指定管理制度を十分検討していきたい。

県外の客が事前に申し込み用紙を提出するのは困難。おもてなしが叫ばれる中、町はこれまでの利用方法また、対応についてどう考えるのか。

商工観光課長 メール、ファクス等で事前に申し

問 子どもの貧困、実態調査は各種委員から情報収集

問 全国的に貧困家庭が過去最悪となっている。本県は、貧困率5.5%と全国最低であるが、本町の実態をどうつかんでいるか。

答 子育て支援課長 貧困率調査は行っていないが、民生委員・主任児童委員・家庭相談委員の方々から情報を収集し、相談や支援を行っている。

学校教育課長 生活保護法に基づく要保護者はいないが、準要保護者は50人ほどいる。

問 県の調査では、母子家庭の平均年収は242万円で、子育てと仕事



はびりゅう

問 国体・障がい者大会のねらい

答 継続した組織作り

問 国体・障がい者大会で4競技を受け入れるが、そのねらいは。

国体推進課長 町民総参加の活動を通し、その後も継続して活動できる組織を作ること。また、小中学生に一流選手の試合を見ていただき、自らが国体を目指すことなどを考えている。

問 介護サービス取り上げ対応は

答 生活できる環境は守る

問 国は介護保険の給付を減らすために、要介護1・2への生活援助や用具貸し出しを保険から外す方向とした。これらサービスの削減は、高齢者の在宅介護を難しくし、さらに介護離職が増えることにもつながる。福祉用具の保険除外は家族介護への負担も大きくなる。こうもころころ変わる制度へ、町の対応はどうか。

福祉保健課長 国は、給付と負担のバランスを目指すとし、平成30年から一部サービスを自治体へ移行する方針だ。軽度認定者の訪問サービス中、約半分が身体介護で、半分が生活支援と捉えている。関係機関の協力を得ながら対応したい。

問 以前、社協が行っていた用具貸し出しを、介護保険でやると止めさせたのは国。電動ベッドなど自己負担となっても、支援の条件はなくなっている。その分、家族介護への負担は一層重くなる。町は、高齢者対策を専門に取り組む必要がある。

福祉保健課長 国は在宅介護へ誘導しておきながら、給付から外す。これは問題があるが、制度の持続を考えれば、今後は近所の元気な高齢者の協力を得たサービスを検討していく必要がある。

町長 町としては、その流れになっても、生活できる環境は、作っていき

福祉保健課長 国は、給付と負担のバランスを目指すとし、平成30年から一部サービスを自治体へ移行する方針だ。軽度認定者の訪問サービス中、約半分が身体介護で、半分が生活支援と捉えている。関係機関の協力を得ながら対応したい。



問 保育園の民営化は断念を

答 園の配置や運営を検討中

問 町第三次行革大綱に、また幼児園などの統合や民営化を検討するところ。ゆつたり保育と保育の安全の保障のためにも、本町で「子育ては町が責任を持ちます」とすべきで、民営化は断念すべきだ。

子育て支援課長 民営化を検討する…が、即民営化ではなく、現在幼児園・幼稚園10園あるが、将来の園の配置や運営のあり方を総合的に検討しているところだ。

町長 子育ては町が責任を持つというのは大前提。結論を出していくかなければと思っている。

問 学校給食中毒で学ぶこと

答 調理員確保と備品整備で対応



滝波登喜男 議員

問 学校給食の調理現場では、厳しいマニュアルに従い厳密に作業を行うことで、食中毒防止を行っている。その中で課題は。

学校教育課長 毎日の調理員、家族も含めての健康調査に基づく作業従事可否判断をするため、急きょ交替が必要となっているが、大変である。また、老朽化に伴う調理備品などの不具合もあり、

学校と連携をとり、事前に修繕できるように努めている。

問 若狭町では、給食センターで発生したため大きな被害となった。効率化優先のセンター方式か、リスク分散型の自校方式か、本町は今後どのような考えか。

学校教育課長 学校施設長期保全計画に基づき、各学校給食施設を調査し検討していく。

《議員定数削減》

問 旧松岡町では24名いたこともあった。議員の数を減らすと町民の声が届かないという声もある。14名では議会活動がうまくいかないと思う。【志比塚ふれあい会館】

議会 権限の大きな首長を民意でチェックする議員個々の力量強化が必要。本町の議会は全議員が一般質問をする活発な議会である。議員自らの資質向上に努め、円滑な議会運営に努める。

問 政務活動費については、誰が見ても胸張って言える活動であれば賛成です。これも議員同士で決めるべき。【谷口コミュニティセンター】

議会 町政に反映され、また、住民福祉の増進に期するための活動経費。

提言 議会・委員会を欠席した時は、報酬を減額すべき。【吉野塚集落生活改善センター】

意見 今は議員報酬を上げたり、手当を付ける時期ではない。議員がしっかり仕事をして、永平寺町も変わってきたという裏付けがあってから、初めて議員報酬の話でしょう。【鳴鹿集落改善センター】

問 4人の定数削減により議員活動は大変であると思う。減員になった4人分の報酬を加算して現行の1.5人分の報酬にすれば、優秀な人が議会に出ることになるのではないかと。政務活動費と両方計上はだめ。【浅見集落生活改善センター】

議会 ご意見を委員会で検討する。



兼定島集落生活改善センター

町民の声を議会へ

議会と語り合

ダイジェスト版

（※ 質疑内容抜粋）

平成28年4月26日27日28日 実施

町内12会場で開催し、3日間で延べ168人の方が会場に足を運んでくださいました。

町民からの質問・要望等への回答

《ストップ・人口減少 少子化対策》

問 町中の空洞化が目立つ。その原因の一つが地主が土地を売ってくれないということがある。町内の空洞化を解決する方策をすべき。例えば町で買い上げて（収容控除適用）宅地分譲するなど、行政も考えてもらえないか。松岡地区は小中学校も近く、子育て支援策も進んでいるなど、居住的にはいい環境にありながら空洞化したままになっている。

【春日3丁目ふれあい会館】

議会 松岡地区の旧町内活性化のために空家、空地をどう有効活用すべきか考えていかなければならない。これまでも空地の有効活用について公共収容として活用してはどうか、町に提案している。

問 田舎で暮らしたいという若い人もいるが、住んでからその地で就業できるか、起業できるかが大事。起業しやすい環境作り、起業資金助成とか、3年間、5年間バックアップをするような制度はあるのか。固定資産の優遇制度はあるのか。【春日3丁目ふれあい会館】

議会 商工会を通じた融資支援や「企業立地促進条例」での固定資産税優遇はある。（企業立地促進条例：用地取得助成金…用地取得費の20%・限度5,000万円、雇用促進助成金…町内在住者の新規雇用30万円/人、事業施設設置助成金…操業開始3年間固定資産税の助成）今後ソフトパークの研究スペースや起業者向け貸フロア制度の利用者との連携や本町内での起業支援・居住も本町のロケーション資源活用にならないか行政に確認したい。

※紙面の都合上、掲載できなかった質疑内容・回答はホームページほか、役場本庁・永平寺支所・上志比支所でご覧いただけます。ご了承ください。



永平寺町議会 検索

問 人口増を見込むのであれば、どこの市町もやらないような手法を考えるべき。地域の過疎化問題とは別に、学校の統合問題の対応も先を見つめ早く実施した方が良い。このままだと永平寺地区や上志比地区の子どもが育たなくなる。【清水交流センター】

議会 この課題は大変大きい。永平寺町全体でとらえた将来を見据えて、地域住民とよく議論し、課題に取り組む。

問 昔あった商店街はさびれてしまい、今の商店街はお粗末な状況。商店街の活性化の方策はないのか。商工会任せでなく商工会とタイアップしてリーダーシップを取り、強力で活性化を進められないか。【藤巻集落改善センター】

議会 町はインバウンドを含む交流人口拡大を目指し、観光客拡大を商工観光業活性化につなげようと、地域資源を活用した新ブランド創造等に取り組んでいる。そこで、商工会と連携して各種施策を行う予算を付けている。また、大本山永平寺にきた観光客に町内の見どころや名所へ回遊してもらい、食文化や歴史に触れてもらうという企画も検討している。そのうえで、地域の活性化を促していく。



谷口コミュニティセンター

《その他》（総務常任委員会関係）

問 年金は偶数月にもらえる。介護保険料・後期高齢者健康保険料・国民健康保険税が年金から差し引かれる。それらは7月に通知が来る。4月に年度が変わるので、4月の年金が支給される前までに通知できないのか。【鳴鹿集落改善センター】

行政 保険料は、所得割・資産割が確定しないと正確な額が算定できないため、7月中旬の通知となる。保険料確定前の仮徴収額等については、4月中旬に通知している。

《その他》（教育民生常任委員会関係）

問 公民館活動について、ただ「頑張れ」ではどうしようもない。町が活動方針を立てて指導してほしい。【ふるさと学習館】

議会 当議会の教育民生委員会で調査研究している。今後、町と協議して良い方向性を出していく。

問 志比北地区の少子化に対する計画は。【殿村ふれあい会館】

行政 学校においては、丁寧な学習指導や地域・他校との交流体験活動を積極的に行っている。人口減少対策として、若年者の定住促進助成の充実や、宅地開発・企業誘致を積極的に進めている。

問 幼稚園・幼稚園を民間委託すれば、財政の軽減化が図られる。議員が行政に提案すべき。【鳴鹿集落改善センター】

議会 議会では賛否があり、一般質問している。行政では、行財政改革大綱をふまえ、統廃合や民営化など将来のあり方を今年度から調査研究している。

《その他》（産業建設常任委員会関係）

問 空き家が動物の住み家になっている。何とかできないか。【浅見集落生活改善センター】

行政 空き家を取り壊して更地にすると土地の固定資産税が6倍になることから、空き家対策について行政対応を質疑検討している。空き家の状況と対応の是非を現在調査検討している。特定認定の是非は非常に困難である。

日付	開催委員会等	上坂久則	滝波登喜男	長谷川治人	朝井征一郎	酒井要	江守勲	小畑傳	上田誠	金元直栄	樂間薫	齋藤則男	伊藤博夫	奥野正司	中村勲太郎	川治孝行	長岡千恵子	多田憲治	川崎直文	
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総務常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	定例会(一般質問3日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	定例会(一般質問2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	定例会(一般質問1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会行財政改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会行財政改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会行財政改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	出席回数																			
	会議回数																			
	出席率																			

地デジ121ch 行政チャンネル週間番組表 放送期間 2016年8月12日(金)~8月16日(火)

時	8月12日(金)	8月13日(土)	8月14日(日)	8月15日(月)	8月16日(火)	時
8	00 臨時議会前半	00 一般質問(2日目③) 上田誠議員 多田憲治議員	00 一般質問(1日目①) 川治孝行議員 小畑傳議員	00 予算決算常任委員会① 59 文字告知放送	00 一般質問(2日目①) 江守勲議員 酒井要議員 朝井征一郎議員 奥野正司議員	8
9	16 文字告知放送	52 文字告知放送	44 文字告知放送	00 予算決算常任委員会②	50 文字告知放送	9
10	00 臨時議会後半	00 一般質問(3日目①) 金元直栄議員 滝波登喜男議員	00 一般質問(1日目②) 長岡千恵子議員 上坂久則議員	33 文字告知放送	00 一般質問(2日目②) 奥野正司議員 樂間薫議員	10
11	32 文字告知放送		46 文字告知放送	00 本会議	50 文字告知放送	11
12	00 開会		00 一般質問(1日目③) 長谷川治人議員 中村勲太郎議員 齋藤則男議員	04 文字告知放送	00 一般質問(2日目③) 多田憲治議員	12
13	47 文字告知放送	06 文字告知放送		00 臨時議会前半	52 文字告知放送	13
14	00 一般質問(1日目①) 川治孝行議員 小畑傳議員	00 予算決算常任委員会① 59 文字告知放送	50 文字告知放送		00 一般質問(3日目①) 金元直栄議員 滝波登喜男議員	14
15	44 文字告知放送	00 予算決算常任委員会②	00 一般質問(2日目①) 江守勲議員 酒井要議員 朝井征一郎議員 奥野正司議員	16 文字告知放送		15
16	00 一般質問(1日目②) 長岡千恵子議員 上坂久則議員	33 文字告知放送	50 文字告知放送	00 臨時議会後半		16
17	46 文字告知放送	00 本会議	00 一般質問(2日目②) 奥野正司議員 樂間薫議員	32 文字告知放送	06 文字告知放送	17
18	00 一般質問(1日目③) 長谷川治人議員 中村勲太郎議員 齋藤則男議員	04 文字告知放送	04 文字告知放送	00 開会	00 予算決算常任委員会①	18
19	50 文字告知放送	00 臨時議会前半	00 一般質問(2日目③) 上田誠議員 多田憲治議員	47 文字告知放送	59 文字告知放送	19
20	00 一般質問(2日目①) 江守勲議員 酒井要議員 朝井征一郎議員 奥野正司議員	16 文字告知放送	52 文字告知放送	00 一般質問(1日目①) 川治孝行議員 小畑傳議員	00 予算決算常任委員会②	20
21	50 文字告知放送	00 臨時議会後半	00 一般質問(3日目①) 金元直栄議員 滝波登喜男議員	44 文字告知放送	33 文字告知放送	21
22	00 一般質問(2日目②) 奥野正司議員 樂間薫議員	32 文字告知放送		00 一般質問(1日目②) 長岡千恵子議員 上坂久則議員	00 本会議	22
	04 文字告知放送	00 開会		46 文字告知放送	04 文字告知放送	
		47 文字告知放送	06 文字告知放送			

議会活動レポート

Eiheiji town council activity report

ホームページ・facebookに
随時更新中!

4/12 議会と語ろう会CM撮影



4月26日・27日・28日に開催する『議会と語ろう会』のPRのため、広報特別委員会の長岡委員長と江守議員、樂間議員が、こしの国ケーブルテレビへCM撮影に行きました。

4/21-28 新課長・新人職員・地域おこし協力隊の紹介



会議の前に、新課長、新採用職員の方々の紹介があり、それぞれ抱負を述べていただきました。フレッシュさや、あふれる笑顔は、来庁者や先輩職員にパワーを振りまいてくれます。議員も元気をいただきました。

4/22 石川県能登町議会 来町



石川県能登町議会の議員ら6名が「議会と語ろう会」についての視察のため来町しました。

5/26 ふるさと創造拠点施設 起工式

ふるさと創造拠点施設(仮称)建設工事の安全祈願祭・起工式が執り行われ、議員も出席。施設建設の安全を祈願しました。

川崎議長は「この施設は、にぎわい交流拠点として整備するものであり、議会としても今後の管理・運営に対して、自らの役割を發揮していきます」と挨拶しました。



本議会以外にも
活動中!

4/26 三重県東員町議会 来町



三重県東員町議会の議員ら17名が「議会基本条例制定までの経緯」や「議会と語ろう会」についての視察のため来町しました。この日の夜に開催した「議会と語ろう会」の現場視察にも来ていただきました。

6/21 三重県玉城町議会 来町



三重県玉城町議会の議員ら17名が「議会改革の取り組み」(議会基本条例・議会と語ろう会・事務事業評価など)についての視察のため来町しました。

7/1 よりよいものに! 広報研修

福井県議会広報研修会があり、議会広報特別委員会の委員が出席しました。今回の講師は、グラフィックデザイナーの長岡光弘氏。広報紙の媒体特性や編集ポイントのほか、本町議会の議会だよりのクリニックを受け、細かい箇所にもご指摘を受けました。

より良い議会だよりにしていくため、頑張っています。



あいかむ

永平寺愛花夢 ガーデニングクラブ

松岡公民館の公民館講座で毎月1回第1水曜日に活動しています。会員は27人で、代表は松岡薬師にお住まいの関さんです。

日ごろの活動は、公民館講座で毎月1回の活動のほか、公民館まつりやグリーンセンターでのイベントで鉢植えや花の苗の販売を行っています。また、年2回永平寺町役場本庁舎前の国道の歩道の植え込み5カ所に、春はサルビア・マリーゴールド・ガザニアを、秋には主にパンジーを植え付け、朝夕の水やりなど管理をしています。

植え込みの雑草をとり、土に肥料を加えて耕し、街路樹の邪魔にならないように、花の色合いや大きさなど考慮して、見栄えが良くなるように植え付けていきます。歩道の植え込みの活動は毎年継続して行っています。

会員は、花の大好きな人ばかりです。たくさんの方の町民の方や国道を通行する人々に見ていただきたいという思いでいます。

2巡目の福井国体も2年後に迫ってきまし



た。まずは国体開催に向け、町民の皆様の協力を得て頑張っていきたい。そして、国体が終了しても花いっぱい運動を継続して進めていきたいと思います。



先般、福井放送の『おはよう7』という番組で、福井国体に向けた永平寺町民の活動や施設紹介などの放送がありました。その中で、このクラブの本庁舎前花の植え付け作業風景も紹介されました。

活動中は、楽しそうなおしゃべりや笑い声が絶えません。一番楽しみにしていることは、お花を見るためにバスをチャーターして東へ西へと毎年出かけることだそうです。

国体の花いっぱい運動と聞くと、48年前の国体を思い出します。今でも、真っ赤なサルビアや黄色のマリーゴールドは国体の花だったように記憶しています。

町中を花でいっぱいにして、心とむおもてなしができれば最高です。花は生き物ですから、毎日の水やりは大変ですし、天候や気温に左右されることも多いですが、一人でも多くの町民の方にご協力していただき、町を花でいっぱいしていきたいものです。

(長岡 記)

編集者のひと言

議員となり早くも2年が過ぎようとしている。現在の広報特別委員会のメンバーでの編集も今回の発行が最後となり、あっという間の2年間でした。その間、広報委員研修などを受け、議会だよりの見やすさ、「伝える広報」ではなく「伝わる広報」を目指して委員全員で議論しながら取り組んできました。

議会や議員の考え(想い)を、わかり易く伝えるようにできたのが自問自答しながらの編集の日々でしたが、次回からは、新しい広報特別委員会のメンバーに引継ぐことになりました。議会の情報発信を一人でも多くの町民の方に読んでいただき、取り組みを知ってもらえるような議会だよりの作りあげてくれることを願っています。

(江守 記)

議会
発行責任者
議長
川崎直文
江守 勲・上田 誠
金元 直栄・中村勘太郎
議会広報特別委員会委員
委員長 長岡 千恵子
副委員長 楽間 薫
委員 江守 勲・上田 誠
副委員 金元 直栄・中村勘太郎